

賃金の仕組みを学び、 団結して秋闘へ!

仕事に見合った賃金を!

賃金について共に学び
考えていこうと挨拶する加藤さん

賃金の仕組みについて講演する木下さん

行動提起を行う平松さん

2026学習総決起集会 開催!

れました。

賃金について共に学び、考えていこうと挨拶する加藤さん

賃金の仕組みについて講演する木下さん

私たちの賃金の
仕組みを学ぼう!

9月2日(水)アステールプラザにて「自治体・関連職場で働く臨時・パート・嘱託・会計年度任用職員2026学習総決起集会」が開催され、会場21名、オンライン23名の計44名が参加しました。冒頭の挨拶では非正規連絡会ヒロシマ現代代表の加藤加代子さんから、秋季闘争を前に改めて賃金の仕組みをしっかりと学び共に考えていこうと挨拶がありました。



大会発言指名を求める全国の代議員

各単組の代表が一言ずつ決意を述べる決意表明リレーには4単組が参加し、職種によって様々な問題はあっても、職責、仕事に見合った賃金を勝ち取れるよう全体で団結し、交渉に臨む決意を固めました。

最後の行動提起では非正規連絡会ヒロシマ現代代表の平松ゆう子さんから、今日知ったことを職場で話し未加入者へ組合加入を呼び掛けることや、団結署名や決起集会・宣伝行動に積極的に取り組むこと、そして10月開催の地方自治研究会国集会へぜひ参加してほしいと呼び掛けがありました。

団結し交渉に臨もう!
みんなで行動を!

「戦争はイヤ」の思いあつめ、平和な社会を

自治労連 第48回定期大会 が開催されました!



度、働きがいのある職場づくり

仲間を増やし働きがいと魅力ある職場をつくり、公共を取りもどそう

8月23日(日)24日(月)岩手県盛岡市で自治労連第48回定期大会が開催され、260人の代議員に占める女性比率は31.3%でした。

運動方針は、4つの重点として(1)戦争国家づくり・改憲阻止、だれもが安心して暮らせる平和な社会実現(2)憲法の理念を具体化し、公共を国民・住民に取り戻す(3)希望と意欲をもてる賃金・公務員制度、働きがいのある職場づくり

★ 自治研まであと少し!最終回 ★ 第18回 地方自治研究国集会in広島 その⑤

数ある自治研分科会の中から
第15分科会をご紹介します!

第15分科会「家父長制から考える日本のジェンダー課題」は、女性の権利を大切に、性の人権の実現する社会の実現、憲法の観点から家父長制と労働分野のジェンダー課題について考えていきます。

助言者は、岡山県労働者学習協会事務局長の平松ゆう子さんから、14条は法の下の平等、第24条は家庭生活における個人の尊厳と両性の本質的平等について定められています。

まもなく開催! 10/3(土)~4(日)第18回地方自治研究全国集会in広島

全国の仲間と「仕事を語ろう」
地域みなさんと「暮らし続けたい町づくり」について語ろう

集会内容は
2次元コードから



す。しかし2025年のジェンダーギャップ指数で日本は148位と、世界中でも立ち遅れた状況です。ジェンダー平等の実現のための地域づくり、政策や運動について、全国的に学び交流することを楽しみにしております。ご参加お待ちしております!

各地で多発する災害で被害に遭われたみなさまにお見舞い申し上げます。
災害支援活動にあたられている自治体、公務公共職場で働くみなさん、おつかれさまです。

7月28日午後4時27分頃、熊本市宇城市と氷川町で震度7を観測する巨大地震が発生しました。被災されたみなさまに心からお見舞い申し上げます。

自治労連本部は、7月29日に緊急に自治労連本部内災害対策本部を設置し、現地の労働者、被災者の救援、復興に役立てることを目的に、被災者支援カンパに取り組み体制を取り、広島自治労連は本部の呼びかけにこたえ、各単組役員を通じて、組合員のみならず、カンパの協力を呼びかけました。

そして、8月20日に、「広島」の土砂災害でも全国からたくさんのご支援をいただき、現地に行くことはできないけれど、みなさんの生活が少しずつよくなることを、全国のみなさんが応援しています。少しでもみなさんの支えになればと思います。

安心、安全な生活を取り戻せるよう、広島からも支えていきます」と、とメッセージを添えて送金しました。

その後、各地で災害が多発しており、改めて「自治体・



公務公共労働者の増員を「軍事費より防災・減災に予算を」「ミサイルより体育館・避難所にエアコンを」と要求を強めていきましよう。これから取り組む「被災者生活再建支援制度の拡充を求める請願署名」を一筆でも多く集め、政府を動かしましょう！

● 広島自治労連第37回定期大会 ●
11月1日(日)11時~17時
ロードビルでオンライン併用で開催
11時~12時 学習会「仲間を増やそう」
12時45分~17時 定期大会次第

被災者支援に取り組むとともに、安全・安心の地域づくりを



9月8日、企画総務局公共施設マネジメント推進室との交渉の様子

指定管理者制度開始から20年 今の時代に対応する 考え方、予算、方針を要求する

広島市関連労組連絡会は、8月18日から9月8日に計4回、健康福祉局・こども未来局、経済観光局・都市整備局、市民局、企画総務局と、毎年行っている指定管理者制度について交渉しました。

今年指定管理者制度開始から20年。20年前には想像できなかった未曾有の物価・人件費の高騰で、これまでの制度ではまともに事業を継続できなくなっています。広島市は指定期間中も物価の変動等に対応し、指定管理料を増減する「スライド制」を2027年度に導入します。

2027年度から導入する「賃金スライド制」

福祉の分野では、「困っている人こそ助けが必要。利益を追求せざる負えない民間事業者ではその人たちを引き受けず、儲けの出やすい事業のみ実施する傾向がある。市の外郭団体は、赤字になっても引き受けざるを得ない」と職

訴えました。

築50年を超える公共施設が珍しくなくなり、各単組とも事故の可能性や設備の不備による利用停止の危険性を訴えました。また新築改築した施設でも設計ミスによる想定外のトラブルが起こっていることを訴えました。

各課とも課題については認識しているものの、限られた予算の中で優先順位をつけて対応するしかないという回答でした。



指定管理者制度のもとで働く仲間の要求を訴える中村議長(右から2人目)

員の増員と応募してもらえない待遇の改善を求めました。

専門分野に対する予算と方針を強く求める

指定管理施設が請け負う専門分野では20年前にはなかった考え方や政策がそれぞれ導入され、広島でも対応する予算と方針を立てて欲しいと要望を出しました。

自治労連第48回定期大会
【補助組織大会報告】

格差・差別のない、ジェンダー平等社会の実現を

8月22日(土)午後からオンライン併用で岩手県盛岡市のサンビル大ホールにて行われました。

運動方針では曾我事務局長より正規・非正規職員の格差解消やジェンダー平等社会の実現のため、「対話と学びあい」で新たな仲間を増やし、団結の力で委託・指定管理が導入されても労働条件の後退と行政の無責任な対応を許さず、公務公共を支えていく運動の重要性が訴えられました。

その後の討論では、全国より15本の発言があり、広島からは石本代議員が、7月に実施した会計年度任用職員自治体キャラバンの取り組みにおける成果と課題について、発言を行いました。

最後に全国の仲間と共に様々な課題について「対話と学びあい」を深め、同一労働・同一賃金の実現に向け、運動・学習・交流を強化していくことの重要性を確認して大会を締めくくっています。



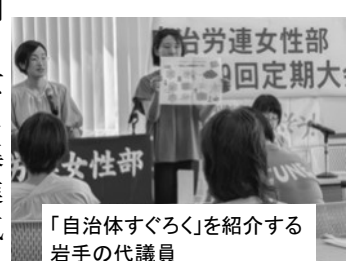
発言する石本代議員

8月22日(土)午後からオンライン併用で開催され、会場から24名オンラインで16名が参加しました。

各地からは、世代交代が困難でも連続学習会や泊りがけで女性部大会&学習会の開催、「自治体すぐるく」の作成、「ジェンダー平等アクションプラン」策定の過程と今後の取り組み等が報告されました。

広島からは平和学習や、「娘や嫁が第2子を出産する際の補助休暇」について報告し、全国自治研への参加を呼びかけました。

女性部長が、人員不足で心身が疲弊している実態、会計年度任用職員の多くが女性で雇い止めの不安のなか業務を行っている状況だが、性別に関わらず安心して働ける職場づくりが人員不足の第一の対策、女性が参画し声を反映させていこう、各地の取り組みは全国の集まりで報告し、共有すると前進につながる、がんばろうと元気づけよく語り、終了しました。



「自治体すぐるく」を紹介する岩手の代議員

女性部第39回定期大会
「つながろうつながげよう、私たち女性の運動を！」